

令和2年3月26日

大西 一史 熊本市長様

団体名 うえき自然塾

代表者 職名 塾長 野中



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成31年4月1日付け指令(地活)第1-8号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名 里山での親子自然体験活動

2 助成事業の実施期間 平成31年4月1日～令和2年3月25日

3 助成事業の内容

豊かな自然の中で、親子であるいは友だちと思いきり体を動かしながら四季折々の自然を体感しながら、野外体験(作る・食べる・遊ぶ)活動をしてたくましく生きる力を育てるような活動を行う。

※別添のうえき自然塾便り93号～99号参照

4 事業の成果

活動の内容や時期によって参加者の多い少ないはあるが、特にPRすることもなく参加者数は安定してきた。昨今、子どもを取り巻く環境がやや不安定になってきていることを察してか保護者も子どもたちに自然の中での活動やたくましく生きる力を育てたいという思いが都市部に居住している方に特に多いようだ。リピーターも増え、口コミでの参加者も増加している。

ここうえき自然塾の立地条件、田んぼ、栗林、小川、竹山、それに加えて手作りの石窯など、それに加えて様々な技を持った?スタッフがいて、季節に応じた体験活動ができるということの魅力もあるようだ。

また、様々な地区から異なった年齢層の子どもたちあるいは保護者などが集い、それが互いのコミュニケーションと良い意味での刺激になり、活動が終了した後の満足感を与えているようだ。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式第16号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等 別添 うえき自然塾便り93号～99号

(3) その他参考となる資料 別添 参加者の感想文

別紙(1)

事業報告書

実施年度	令和元年度
事業名	里山での親子自然体験活動
事業期間	平成31年4月1日～令和2年3月25日
事業の目的	急激に変化する社会中で子どもの生活習慣が変化し、さらに自然災害等も発生し、そのような社会の中で子どもたちには豊かな心やたくましく生きる力の育成が求められている。そこで、里山での野外体験活動を通して子どもたちに将来を切り拓いていく力を身に付けさせたい。
具体的な事業内容	里山の豊かな自然に触れながら毎月1回(1月を除く)季節に応じた活動(食べる・作る・遊ぶ、を主にした活動)を多くの仲間と体験する。 【本年度の活動内容】 (参加者数) 4月21日 うえき自然塾特製ピザづくり 61名 5月26日 マコモの植え付け 28名 6月16日 小川で遊ぼう 46名 8月 4日 そうめん流し 100名 (9月 ※雨天のため栗拾いは中止) 10月20日 マコモダケと飯ごう 34名 11月17日 うえき自然塾特製ピザづくり 58名 (12月 ※ミニ門松づくりは雨天のため中止) 2月23日 竹で遊ぶものを作ろう 50名 (3月 ※新型コロナウイルスのため中止) 毎回活動日の前にスタッフで会場の整備作業(除草作業や竹切りなど)を実施。その他簡易トイレの移動や材木を使って橋づくりなども実施。
実施場所	うえき自然塾(熊本市北区植木町平原地区の里山)
協力団体	特になし
事業の効果・公益性	スタートして13年になり、市内外各地からの参加者があり、地域に定着してきた。特に、自然の中で子どもたちが日常生活ではできにくいことに熱中する姿にスタッフも明日へのエネルギーをもらうような気がする。
次年度以降の事業展望	昨今のような社会情勢をみると、このような活動はさらに重要性を増してくるようになる。保護者の声からもこのような活動への期待も強くなってきているようだ。さらに工夫していきたい。
事業への思い	植木町のこの地域の自然の特性をさらに深くとらえて、ここでしかできないこと、子どもたちのために大切なことを考え、地域の環境の保全と合わせて取り組んでいきたい。 子どもたちだけでなく子供から大人まで、地域ぐるみの豊かな街づくりの一つの核になればと考える。

様式第16号（第21条関係）

事業収支決算書

◆収入決算（円）

項 目	金 額	内 訳
会費	37,000	うえき自然塾入会金1,000円×37家族
当該事業による収益	70,300	活動参加費（各活動参加費）
当該事業に対する寄付・協賛金	5,000	寄付
その他の自己資金	904	自己資金から
当該事業に対する助成金額	130,000	わくわく基金2019年度助成金
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	243,204	

◆支出決算（事業別）（円）

事業名	里山での親子自然体験活動	合計
支出費目	0	0
人件費	0	0
報償費	0	0
旅費	0	0
人件費等合計【A】	0	0
役務費	39,628	39,628
使用料・賃借料	0	0
事務・消耗品費	176,094	176,094
委託費	27,482	27,482
合計	243,204	243,204

助成申請上限額（助成種別：ステップアップ 助成）

〔事業費 243,204 － 控除額【E】0〕×2/3＝162,136

※控除額…超過人件費（人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分）とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	0	➤	超過人件費【C】※	0
事業費の1/2【B】	121,602		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	-121,602		控除額【E】	0

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業「里山での親子自然体験活動」

人件費	なし
報償費	なし
旅費	なし
役務費	傷害保険料（通年一括：15,400 円） 案内状送付（292 通；24,228 円）
使用料・賃借料	なし
事務・消耗品費	食材（63,999 円）、チェーンソー（42,660 円）、鋸替え刃（6,300 円） 刈払い機替え刃（7,900 円） インクカートリッジ カラー×2、黒×2（案内、うえき自然塾便りその他の印刷；16,281 円） トイレ汲み取り（2 回；5,665 円） 橋製作用材木（22,000 円） 刈払い機、チェーンソー用燃料（2,400 円） ロープ、結束バンド、 救急薬品、用紙、封筒、乾電池（電気柵用）、その他（8,889 円）
委託費	シルバー人材センター（除草作業委託；17,482 円） 耕運機による作業（マコモの田んぼの耕うん作業；10,000 円）

※通年の活動での活動日（本年度は 10 回中 7 回実施）と事前の準備作業等での支出内訳